

日本政治学会 会報

The JPSA News

No. 1

April 1981

理事長就任にあたって

神島二郎

半世紀まえわれわれはわが国の重大な岐路に立って誤まった選択を不用意に受け入れ、あつというまに雪崩れのように戦争にまきこまれていきました。その記憶が、一昨年来のかまびすしいソ連脅威論のなかでなまなましくよみがえってきて、せきあえぬ焦燥の念にかられないではいられなかったのは、私だけではあるまいと存じます。研究者として本来なら、真実を見きわめる認識の作業に全力を傾注しなければならないはずの身でありながら、それをさしおいて現実の選択に直接介入しないではいられないような事態がひきつづき現前しているといわないではいられない今日のごころであります。

第二次大戦後、敗戦の激動をへて、すすんでみずからするといなどにかかわりなく、変革を経験することになったのでありますが、そこでは、資本主義から社会主義へというまごうかたなき方向づけがあって、それがまた、たんにわが国だけでなく世界的な傾向で、それを保革とか左右とかいう言葉で表現してきたのであります。こうした分類を前提に世界が二大陣営に分けられ、東西の対立から南北の対立へ、東西の冷戦から平和共存へ、さらに東と東の対立、南と南の対立が生じ、それぞれの国の国内問題——社会的格差や差別の問題、新しい階級の発生など、従来資本主義が批判と克服の対象にされてきたとまったく同様のことが社会主義においても指摘され、そうした問題の国をこえた普遍性を背景にして国内問題の国際化、国際問題の国内化という内外政治の連動が注目されるにいたっております。このように多重複合化する拡がりや深みのなかで政治の変容と変質が始まるわけでありまして、60年代末ほとんど世界的に同時生起し、わが国では学生の反乱とか市民の反乱とかよばれた現象が、このふかく潜行して目に見えぬ変動を、いうなれば過早に先ぶれていたのかもしれませんが、ドル・ショック後の高度経済成長の終息とともにその動きが急速に消えていってしまい、事態の認識を深めるにたる試みを成熟させるにいたらず、事態の衝迫のなかで、むしろ新しい事態の進行を的確に追跡できる認識枠組の創出を欠落したままに、性急な対応だけが求められることになったように思われます。

70年代のわが国において、保革伯仲とか保革逆転とかいわれながら、昨年の両院選挙で自民が圧勝すると、右傾化という特徴づけがしきりに行なわれるようになり、結果は、冒頭に述べましたように、いわば歴史を一巡して戦前の振り出しに戻ったかのような感を免れないのであります。考えてみると、保革とか左右とかいう言葉それ自体がわれわれの方向決定にとってなんらの実質的意味をもちえなくなっていることに気づかせられるのであります。

しかしながら、状況が切迫すれば、そしてそれをするべく受けとめるならば、人は座視するに忍びず、おのがじし発言し行動しないではいられないのは、当然のことでありまして。だからといって、日本政治学会が学会としてそのような行動に出ることは、まったくありえないことではないにしても、通常は当然禁欲しなければならないことであります。それというのも、政治的行動が党派性を免れないからでもあります。それ以上に大事なのは、本来の仕事が認識の作業であるからであります。そしてそれは、今日の変動が現実を認識するための認識枠組そのものの変革を必要としているという二重の転換期だということによって加重されているのであります。

その点では、すでに前理事会で決定され、現理事会でただいま執行に当たっております世界政治学会のラウンド・テーブルは、日本政治学会としては初めて試みる国際的な研究集会で、来春三月に開催が予定されておりました。前途になお多くの困難がひかえていると思わなければなりません。アジア・太平洋における政治発展と国際経済秩序を主題に、まさに学会が総力をあげて取り組むにふさわしい恰好の仕事であります。

一昨年秋から準備に着手し、会員の皆さんのお力添えを得て、昨年初めそのための組織委員会が発足し、企画・資金・設営各般の仕事が着々と進んでおります。大事なのは資金づくりで、なかんずく会員の儲金が要めになります。すでに多くの会員から御応募いただき、いま一息であります。

会員の皆さんとともに初めてのこの研究集会をぜひとも成功させたいと念願する次第であります。

学 会 ニ ュ ー ス

1981年度総会と研究会

1982年3月、中央大学で

1981年度の総会と研究会は、1982年3月29日から開催されるIPSA東京ラウンド・テーブルの日程に合わせ、平年より半年繰下げて1982年3月27、28の両日、中央大学（東京）で行なわれることに、12月20日の理事会で決定した。IPSAラウンド・テーブル組織委員会は、これによっていっそう多くの会員が、ラウンド・テーブルに傍聴参加されるよう期待している。なお、阿部齊企画委員長の下で検討されている研究会の企画のあらまは、おおよそ次の通りである。

共通論題

1. 同日選挙の分析
2. 日米政策決定過程の比較
3. 保守化と中間層
4. 心理学と政治学

部会

1. 近代思想とキリスト教
2. 占領の国際比較
3. 農業利益と政治
4. 東欧の政治（特にポーランド）
5. 政治と教育
6. 政策決定論
7. trans-nationalismとsub-nationalism
8. civil-military relation
9. 中国の政治
10. corporatism

なお、1982年度の総会と研究会は、1982年秋、近畿大学（大阪）で開催されることに決定されている。

学会会費値上げされる

1981年度より3,500円（年額）に

学会会費は、1976年度より5年間、2,500円に固定されてきたが、諸物価高騰の波に抗しきれず、ついに3月28日の理事会において、1981年度より3,500円に値上げされることに決定された。この5年間の学会収支の状況は、以下の表に見られる通りである。この5年間、予算も固定化していたため、学会開催校をはじめとして関係各位にも多大の迷惑をおかけしてきたが、1982年度より郵便料金も大幅値上げされ、これ以上迷惑をおかけすることができないという判断の下に、理事会は会費の値上げにふみきったものである。なお、会費値上げにともない、会報（年2回）の発行、研究会報告要旨の事前送付、会員名簿訂正の発行など、会員サービスのいっそうの向上を期すこととされている。また、1982年度の

予算は、会費値上げをふまえて、別表のように決定された。なお、1981年度の正式決算は、監事の監査をへて次の理事会で報告される予定。

最近5年間学会収支の状況（実質）

項目 \ 年度	76	77	78	79	80
〔収入〕					
会費	1,739	1,614	2,033	1,832	1,636
雑収入	14	24	55	14	90
計	1,753	1,638	2,088	1,846	1,726
〔支出〕					
研究会開催費	349	409	545	555	550
委員会経費	320	155	195	225	205
理事会経費	31	22	12	36	47
IPSA分担金	122	174	157	165	184
事務局経費	240	181	259	365	409
IPSA積立金 名簿	70	70	120	120	120
選挙管理費	0	0	187	190	0
予備費	64	0	0	288	272
計	1,197	1,012	1,475	1,945	1,788
収支差引	+556	+626	+613	-99	-62

（単位 1,000円）

理事選挙6月に

5月投票用紙送付

今年は、理事選挙が行なわれる年にあたっている。理事選出規程にもとづき、5月中旬に、会員各位の手もとに投票用紙が郵送され、それを6月末日までに返送して頂くことになっている。手続の詳細は、同時に送られる選挙説明書に記されているが、10名連記で、理事選出に必要な票数は30票、選挙される理事の任期は1982年10月から2年間である。選挙管理委員には、3月28日の理事会で次の各会員が委嘱された。

大森 彌、 鴨 武彦、 栗原 彬、 坂本孝治郎
田中俊郎、 田中靖政、 寺尾方孝、 亙理淑子、

また、選挙管理委員長には、委員会の互選により、田中(幹)委員が選出されている。なお、選挙管理委員会では、日本政治学会規約第8条により、1979年度以降の会費を滞納している会員は、会員資格を失ったものとみなされるので、会員の注意をうながしている。

学 会 ニ ュ ー ス

1981年度予算		
	項 目	金 額(円)
収入	1. 前年度よりの繰越	1,295,054
	2. 会 費 収 入	2,300,000
	3. 雑 収 入	50,000
	収 入 合 計	3,645,054
支出	1. 学 会 開 催 費	680,000
	学 会 準 備 費	500,000
	報 告 者 謝 礼	180,000
	2. 委 員 会 経 費	265,000
	年 報 委 員 会	55,000
	企 画 委 員 会	85,000
	文 献 委 員 会	65,000
	渉 外 委 員 会	50,000
	選 挙 管 理 委 員 会	10,000
	3. 理 事 会 経 費	40,000
	4. 学 会 分 担 金 (IPSA)	210,000
	5. 事 務 局 経 費	480,000
	理 事 長 通 信 費	20,000
	運 営 費	30,000
	人 件 費	180,000
	経 常 費	250,000
	6. 名 簿 作 成 積 立 金	100,000
	7. I P S A 関 係 積 立 金	20,000
	8. 選 挙 管 理 費	300,000
	9. 年 報 特 別 基 金	300,000
	10. 会 報 発 行 費	230,000
11. 予 備 費	1,020,054	
支 出 合 計	3,645,054	
収 支 差 引	0	

	タ イ ト ル	発 行 予 定
年報	1978「国民国家の形式と政治文化」*1980・10 (年報委員長・佐藤 竺)	
年報	1979「政治学の基礎概念」 (年報委員長・松下圭一)	1981・9
年報	1980「政治学と隣接科学」 (年報委員長・脇 圭平)	1981・12
年報	1981「現代国家の位相と理論」 (年報委員長・内山秀夫)	1982・3
年報	1982「近代日本の国家像」 (年報委員長・松本三之介)	1982・10
年報	1983「政策決定の諸問題」 (年報委員長・山川雄巳)	1983・10

*印はすでに発行済み

会 員 異 動

年報の企画、進行中

最近、日本政治学会年報の発行が遅れがちとなっているが、遅れを取りもどすべく企画は着々と進行中で、現在のところ、次のように発行される予定となっている。なお、年報の発行を正常に復するために、1981年度年報から、ふたたび、刊行助成金を申請することとなった。

また、1976年度を最後として、日本政治学文献目録の刊行が停止されているが、それを補なう一助として、1980年度より年報の学界展望を拡充して、文献目録の機能ももたせることとなり、田中浩文献委員長の下で鋭意努力中である。

IPSA TOKYO ROUND TABLE 1982

「IPSA東京ラウンド・テーブル」

全容ほぼかたまる

1980年1月の組織委員会の発足以来、企画が練られてきた「IPSA東京ラウンド・テーブル」の内容が、3月28日の常任委員会ではぼかたまった。

(1)日程

	午前	午後	夕
3.28	参加者登録	参加者登録 準備会議	日本政治学会 レセプション 都内 エクスカージョン 外務省レセプション
3.29	開会式	基調報告	
3.30	第1セッション	第2セッション	
3.31	第3セッション	第4セッション	
4.1	第5セッション	総括討論、閉会	

なお会議終了後、京都でのレセプションとエクスカージョンが予定されている。また、3月27、28両日にわたり、世界政治学会執行委員会が開催されることになっている(会場未定)。

- (2)会場 国民年金中央会館(通称「こまばエミナーズ」)ホール(東京、目黒区)。全セッション同時通訳つき。
- (3)参加者 外国人報告者、司会者(IPSA執行委員会メンバーを含む)36名、日本人報告者・司会者18名、なお傍聴参加者は300名収容可能。
- (4)予算

(収入)

① 日本政治学会、関連学会会員募金	500万円
② 大学、研究所賛助金	400万円
③ 財団、基金、協会等補助金	1,000万円
④ 一般募金	2,461万円
	4,361万円

(支出)

① 準備費	369万円
② 会議費(レセプション等を含む)	750万円
③ 参加者招待費	2,663万円
④ 事後処理費	10万円
⑤ 予備費(全経費の15%)	569万円
	4,361万円

最終予算は、外国人参加者がふえたため、第一次予算(3,600万円)よりかなり増大したが、募金の状況をみて弾力的に執行されることになっている。

なお、セッションと参加者の内容については、升味企画委員長より、別掲の報告が寄せられている。

IPSA東京ラウンド・テーブルの 第一次企画について

企画委員長 升味準之輔

「IPSA東京ラウンド・テーブル」について、人選を次のように第一次案として決定し、交渉中である。

総合タイトル『アジア・太平洋における政治発展と新国際経済秩序』

1. 基調講演

Karl W. Deutsch (U.S.A.), Pablo Gonzalez Casanova (Mexico), 日本側1名(未定)

2. セッション

○第1セッション「政治発展の新しいデザインを求めて」

司会 Jerzy Wiatr (Poland), 日本側1名(未定)

報告者 Juan J. Linz (Spain), D.S. Rathore (India), 石田雄(日本)

○第2セッション「政治指導と国益」

司会 Randolph David (Philippines), 日本側1名(未定)

報告者 Benedict Anderson (U.S.A.), Likhit Dheravegin (Thailand), 宇野重昭(日本)

○第3セッション「軍事力の拡散と新国際経済秩序」

司会 Dieter Senghaas (W. Germany), 日本側1名(未定)

報告者 Robin Luckham (U.K.), Silviu

Brucean (Rumania), Lim Teck Ghee (Malaysia)

○第4セッション「国家間の政治的・経済的依存関係」

司会 Alfian (Indonesia), 日本側1名(未定)

報告者 S.J. Park (W. Germany), Khien

Theeravit (Thailand), Wang Gungwa (Australia)

○第5セッション「新しい国際秩序を求めて」

司会 Alva Myrdal (Sweden), 日本側1名(未定)

報告者 Fernando Cardoso (Brazil), Imma-

nuel Wallerstein (U.S.A.), Soedjatmoko

(Indonesia)

3. ラウンド・テーブル構成者

(イ) 16名のIPSA執行委員(司会、報告者を除く)
C. Mendes (Brazil), G. Shakhnazarov (U.S.

I P S A TOKYO ROUND TABLE 1982

S.R.), D. Frei (Switzerland), S. Hurtig (France), R. Merritt (U.S.A.), A. Arian (Israel), A. Bibic (Yugoslavia), J. Hayward (U.K.), J. Meisel (Canada), F. Kjellberg (Norway), C.A. Perumal (India), E. Özbudun (Turkey), S. Passigli (Italy), J. Portillo (Venezuela), J.E. Trent (Canada), 武者小路公秀(日本)

(*) 日本側のディスカッサント 10名

(*) 中国および韓国から各1名

総合タイトルは、1982年8月にリオ・デ・ジャネイロで開催される第12回IPSA世界大会での第一主題「新国際秩序の探究」と関連をもたせ、また日本での開催という地域的・政治的特殊性を勘案して決定された。

司会者・報告者の選定は、企画委員はもとより、国連大学および本ラウンド・テーブルのコーディネーターであるC.A. Perumal教授からの情報をもとに、アジア・太平洋地域に力点を置いて行なわれた。

出席の可否をえて、しかるべく補充し、9月末までにはペーパーを入手し、印刷・配布することで、討議の充実を計る予定である。

本ラウンド・テーブルは、すべて公開され、約300名程度のフロア参加者を予定し、同時通訳を配することで、報告・討議の徹底を計っている。会員各位のご支援を乞いたい。

日本政治学会IPSA円卓会議

募金354万円に

前回の総会で横越、神島前・現理事長より会員各位に訴えたIPSA東京ラウンド・テーブルの会員募金は、1980年11月の受付開始以来、好調に推移し、1981年4月8日現在、191名の会員から392万円の抛金の申し出があり、すでに175名、357万円の払込みがなされ、目標額の500万円に迫りつつある。組織委員会では、募金に応じられた会員各位に深い謝意を表するとともに、目標額を達成するため、再度のお願いを訴えている。なお、1981年4月8日までに払込まれた会員のお名前は、右の通りである。

IPSA円卓会議基金

募金者名簿

秋永 肇、浅沼和典、阿部四郎、阿部 斉、安部博純、阿利莫二、有賀 弘、飯坂良明、五十嵐暁郎、五十嵐武士、池川順子、池庄司敬信、池田 清、一柳豊勝、井出嘉憲、伊藤 勲、伊藤大一、猪口 孝、今井清一、今中比呂志、岩島久夫、岩永健吉郎、鶴飼信成、内川芳美、内田 満、内山秀夫、梅村光弘、江川 潤、大石明夫、大河内繁男、大島三郎、大西 仁、大森 彌、大谷明夫、岡沢憲美、尾形典男、岡本 宏、小野修三、小山 勉、片岡寛光、勝部 元、加藤栄一、加藤哲郎、神川信彦、蒲島郁夫、河上民雄、川口 浩、川野秀之、上林良一、神島二郎、刈田 徹、河合秀和、木坂順一郎、喜多靖郎、北岡 勲、北住炯一、吉瀬征輔、木戸 蕪、衣笠哲生、日下喜一、具島兼三郎、久野康彦、倉島 隆、児玉 誠、小林丈兒、小松春雄、斎藤 真、阪上順夫、阪野 亘、阪本仁作、佐藤誠三郎、渋谷 武、清水慎三、霜野寿亮、白石正樹、白鳥 令、申 熙錫、杉江栄一、杉田孝夫、杉本 宏、関 寛治、関 嘉彦、関口栄一、曾根泰教、高尾正男、高瀬 学、高橋彦博、高橋義臣、高島通敏、田北亮介、滝田 薫、田口富久治、武 邦保、武内辰治、多胡圭一、田中 勇、田中 収、田中治男、田中 浩、田中靖政、谷川栄彦、谷本真人、塚田富治、辻中 豊、土屋六郎、津森立巳、徳江 健、徳本正彦、富田信男、中島和子、中谷 猛、中谷義和、中西 治、中道寿一、中村 哲、西尾孝司、野村浩一、橋川文三、蓮池 稷、初瀬龍平、馬場伸也、浜田幸策、早瀬 武、原 英次、原田 鋼、半田輝雄、坂野正高、原田清雄、平石直昭、福島新吾、福島徳寿郎、福田敏一、藤城和美、星野 智、細谷千博、堀 豊彦、堀 幸雄、増田 毅、升味準之輔、町田 博、松岡八郎、松下圭一、松野光伸、松本三之介、丸山繁郎、三沢潤生、三宅一郎、宮沢 健、宮崎隆次、宮田光雄、武者小路公秀、村田克巳、毛利敏彦、毛織大順、元川房三、矢崎正徳、矢沢修次郎、安 世舟、柳沢英二郎、山内一男、山川雄巳、山口利男、山口 定、山崎時彦、山下重一、山田 浩、山田政治、山野博史、横田地 弘、吉川 宏、吉馴明子、米原 謙、横越英一、和田鶴藏、渡辺 弘 (五十音順)

総会・理事会の記録から

日本政治学会の総会・理事会の記録から、学会ニュースに入っていない重要な事項だけを要約して、お伝えする。なお、正式な総会の記録は、日本政治学会年報に掲載されることになっている。

〔総会〕 1979年9月23日 東北大学

- 新理事（任期1980年10月—1982年10月）が、以下の通り選任された。

阿部 齊、有賀 弘、飯坂 良明、伊藤 大一
今中比呂志、内田 満、内山 秀夫、神島 二郎
喜多 靖郎、木戸 蕪、衣笠 哲生、小林 丈児
佐藤誠三郎、島袋 邦、鈴木 寛、関口 栄一
高島 通敏、田北 亮介、田口富久治、田中 浩
田中 靖政、平井 友義、平田 好成、堀江 湛
増島 宏、升味準之輔、松下 圭一、松本三之介
三宅 一郎、武者小路公秀、柳沢英二郎、矢野 暢
山川 雄巳、山口 定

また、渡辺保男監事の後任として、川口浩会員が選任された。

- IPSAラウンド・テーブルおよび執行委員会を、1981年度日本で開催することに理事会で決定した旨、横越理事長より報告があり了承された。

〔臨時総会〕 1979年9月24日 東北大学

- 新理事による次期理事会が開催され、神島二郎理事が次期理事長に互選され、また高島通敏理事に次期常務理事を委嘱した旨、横越理事長より報告された。

〔総会〕 1980年10月18日 北九州大学

- 田口理事長臨時代行より、横越理事長のあいさつが読みあげられ、IPSA東京ラウンド・テーブル開催について、会員に募金の訴えがなされた。

- 前田康博監事の後任として、佐々木毅会員が選任された。

〔臨時総会〕 1980年10月19日 北九州大学

- 神島新理事長の挨拶があり、新しい各委員長が紹介された。

〔理事会〕 — 1980年度第3回 1980年10月18日
北九州大学

- 神島理事長より、次の会員に各委員長などを委嘱した旨報告があり、了承された。

年報委員長 松本理事（1982年度年報）
山川理事（1983年度年報）
企画委員長 阿部理事（1981年度研究会）
三宅理事（1982年度研究会）
文献委員長 田中（浩）理事（1980年度文献）

堀江理事（1981年度文献）

選挙担当理事 田中（靖）理事
渉外委員長 武者小路理事
幹事 五十嵐（暁）会員

- 1980年度第1回理事会で決定された会報の編集、発行について、神島理事長から次の提案があり、了承された。

- (1) 高島常務理事、有賀、内田、内山各理事による編集委員会を設けて、編集にあたる。
- (2) 原則として、年2回（3月と9月）発行する。
- (3) IPSA東京ラウンド・テーブルの必要に応じて、臨時号を出す。

〔理事会〕 — 1980年度第4回 1980年12月20日
立教大学

- 阿部企画委員長、松本年報委員長、田中文献委員長より、それぞれ次のように各委員を委嘱し、委員会を発足させた旨報告があった。

企画委員（1981年度研究会）

足立 幸男、今村都南雄、大童 一男
大獄 秀夫、小野 修三、岡村 忠夫
織 完、鴨 武彦、加茂 利男
河田 潤一、黒田 展之、佐々木 武
新藤 宗幸、砂田 一郎、下斗米伸夫
田中善一郎、中野 実、西田 毅
新田 邦夫、古矢 旬、松本 礼二
三宅 一郎、宮沢 健、村松 岐夫
山川 雄巳 各会員

年報委員（1982年度年報）

五十嵐暁郎、岡 利郎、栗原 彬
西田 毅、野村 浩一、橋川 文三
比屋根照夫、和田 守 各会員

文献委員（1980年度文献）（ ）内は担当領域

岡沢憲美（政治理論）、古城利明（政治制度・行政・地方政治）、高野清弘（西洋政治思想史）、和田守（日本政治思想史）、下斗米伸夫（西洋政治史）、大木基子（日本政治史）、佐藤信一（国際政治史）、浦野起央（アジア・アフリカ）、山田辰雄（中国）、中島和子（ラテン・アメリカ）各会員

〔理事会〕 — 1980年5月 1981年3月28日
立教大学

- 6月に行われる理事選挙に際し、会員名簿を確定する必要があるため、1979年度以降会費を滞納している会員は、1981年4月末日までに滞納分会費もしくはその一部を事務局に払い込まないときには、日本政治学会規約第8条により、会員資格を失うこととされた。

IPSA World Congress

(世界政治学会大会)のお知らせ

IPSA第12回World Congressが、1982年8月9日～14日、リオ・デ・ジャネイロ(ブラジル)で開かれる。会議の主題は別表の通りで、日本政治学会会員は、誰でも参加できる。日本からの参加者が多い時は、チャーター便など航空運賃の割引きの可能性もでてくるので、参加を希望される方は、できるだけ早く下記へ問合せ、申込みをするよう世界政治学会では希望している。(なお、日本政治学会事務局にも御連絡下さい。)

〒100 東京都千代田区丸の内1-1-1

パレスビル内

パブリック航空 (担当者 牧野光雄氏)

TEL 03-211-6751~5

IPSA WORLD CONGRESS PROGRAM

THEME 1: Search for a New International Order

Coordinators: Helio Jaguaribe de Mattos

Richard L. Merritt

1. Peace and Security
 - (1) Détente and Conflict Management
 - (2) Disarmament and Arms Limitation
 - (3) Local Conflicts and Escalation
 - (4) Foreign Policy and New World Complexities
 - (5) Prospects for Peace and Coexistence
2. Problems of International Asymmetry
 - (1) Economic Asymmetry
 - (2) Political and Cultural Asymmetry
 - (3) Dependency and Autonomy: Historical and Contemporary Perspectives
3. International Institutions and Processes
 - (1) Universal and Regional Institutions
 - (2) Transnational Actors
4. Nonalignment and International Change
 - (1) Concept of Nonalignment
 - (2) Dynamics and Future of Nonalignment
5. Communication and Information
 - (1) Structure of International Information
 - (2) Modes of Inter-governmental Communication
 - (3) Informal Communication Across National Boundaries
6. Global Modelling

- (1) Modelling Global Political Processes
- (2) Global Modelling
- (3) Data Basis for Global Modelling

THEME 2: Society and the Political Community

Coordinators: Asher Arian

Adolf Bibic

1. The Regulation of Citizenship
 - (1) Demands and Access to Citizenship
 - (2) Citizenship and Human Rights
 - (3) New Limitations on Citizenship: Exclusions and Ostracisms
 - (4) Citizenship and Bureaucracy
2. Participation and Marginality
 - (1) Participants and Marginals in the Political System
 - (2) Representation and Repression
 - (3) Mass Political Demands and the Transformation of Expectations
 - (4) Experience and Systems of Self-Management
3. Communication and Political Processes
 - (1) Political Decisions and Concentration of Information Media
 - (2) Information Media and Induction of Political Behavior
 - (3) Events Production and Divulcation
 - (4) Information and its Controls
 - (5) Politics and High Information Society
4. Democratization, Processes and Problems
 - (1) Crisis and Breakdown in Authoritarian Regimes
 - (2) Crisis and Breakdown in Democratic Regimes
 - (3) Consolidation of Democratic Systems in Post-authoritarian Societies
 - (4) Social Polarization, Cleavages and Political Pluralism
 - (5) Democracy and Political Systems and Social Sub-systems: Compatibility and Conflict
5. Interpenetration of Society in the State: Substance and Forms
 - (1) New Forms of Governmental Intervention
 - (2) Conflicts of Public Allocation
 - (3) The New Corporatism
 - (4) The Role of Quasi-Governmental and

Non-Governmental Organizations
THEME 3: Political Discourse: Past,
Present and Future

Coordinators: Hayward Alker
Jerzy Wiatr

1. Political Epistemology
 - (1) Universal Pragmatics
 - (2) Approches anglo-saxonnes et approches continentales en Philosophie Politique
 - (3) The Constitution of Political Agents
 - (4) Theory of the Subject and Political Discourse
2. Symbols and Myths
 - (1) Structural Aspects
 - (2) Cultural and Symbolic Aspects of Everyday Life under Authoritarian Regimes
 - (3) Cross-Cultural Aspects
3. Political Semantics
 - (1) Structural Semantics
 - (2) Political Semiotics
 - (3) Alternative Images of Structuralism and their Relevance to the Study of Politics
4. Political Argument
 - (1) The Logic of Dialectical Argument
 - (2) The Crisis of Established Political Ideologies
 - (3) Argumentation, Liberty and Efficaciousness
5. Submitted Papers

なお、大会終了後にブラジル国内ツアーが予定されています。

事務局から

会費納入のお願い

新年度のはじまりにあたって、1981年度の会費(3,500円)をお送り頂くよう、お願いします。1981年度は、総会・研究会の開催が年度末になりましたので、財政運営が困難になることが予想されています。できるだけ早く、同封の郵便振替用紙で御送金頂けるようお願いいたします。

また、1981年度は理事選挙の年です。学会規約第8条、理事公選規程第2条により、1979年度以降の会費を滞納されている方は、会員資格を喪失したものとみなされ、選挙の投票用紙をはじめとして、今後の御案内をお送りすることができません。会費を滞納されている方は、折り返し納入されるよう、お願いします。

「会員名簿」の訂正

この会報と同封で「会員名簿(1980)」の訂正付録をお届けします。すでに配布された「会員名簿」に貼付して、修正して下さい。なお、「会員名簿(1980)」をお持ちでない方には、1980年度までの会費をお払込み頂ければ、直ちにお送りします。

IPSA東京ラウンド・ テーブルの宿泊予約

IPSA東京ラウンド・テーブルに地方から傍聴参加される方は、会場のある国民年金中央会館(通称「こまばエミナース」)に宿泊されると便利です。日本政治学会の総会・研究会の会場である中央大学へも、ほぼ40～50分の距離です。宿泊を希望される方は、混雑が予想されますので、早目に予約の申込みをして下さい。

国民年金中央会館 東京都目黒区大橋2-19-5
TEL 03-485-1411(代表) 宿泊料金、シングル(バスつき)4,180円、ツイン(バスつき)7,700円(共に税・サービス料込み)

なお国民年金保険加入者は200円引きになります。

IPSA東京ラウンド・テーブル 外国参加者の招待について

組織委員会では、経費の節減をはかるため、会員各位の大学・研究所等で会議の前後に、外国人参加者を招待(経費の分担をふくむ)して頂くことを歓迎しています。計画のある方は、事務局まで御連絡下さい。また、それ以外に、講演依頼など御希望の方は、できるだけ直接、参加者に交渉して頂くようお願いいたします。連絡先は、事務局へお問合せ下さい。

1981年4月20日

編集 日本政治学会会報編集委員会
(代表 高 島 通 敏)
発行 日本政治学会事務局
〒171 東京都豊島区西池袋3丁目
立教大学法学部研究室
TEL 03(985)2561